

ハザードマップを使って災害に備えよう!

ハザードマップってどんなものなの?

ハザードマップは、台風や大雨などの洪水や土砂災害、大きな地震による被害の範囲を予測して地図にしたものだ。避難所や防災の施設も地図に載っているよ。  
まずは、ハザードマップを使って自分の家を探してみよう。



チェック①

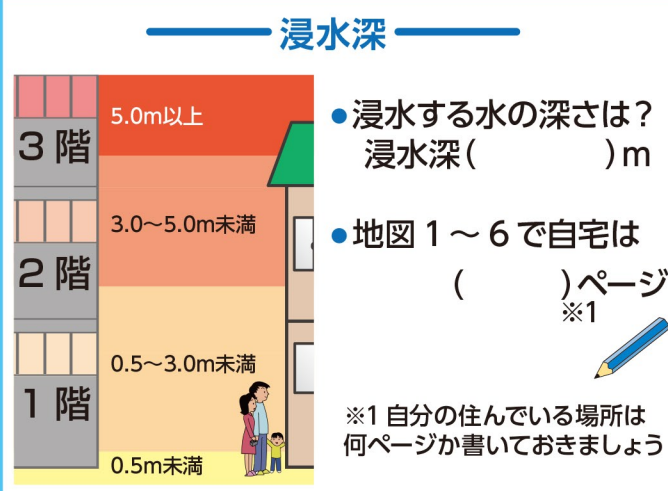
地図1~6 (P7~18)を開いて、自分の家を見つけたら、実際に印を付けてみましょう。  
また、家のまわりの状況を確認してみましょう。

自分の家のまわりに色がついているけど、どういう意味があるの?

洪水の時に、最大どれくらいまで水に浸かってしまうか(浸水深)を色分けしているよ。  
また、土砂災害の時に、警戒が必要な区域にも色が付いているよ。

チェック②

地図上で自分の住んでいる場所はどこな災害の危険性があるのかを確認してみましょう。また、右側の表を記入して災害に備えましょう。

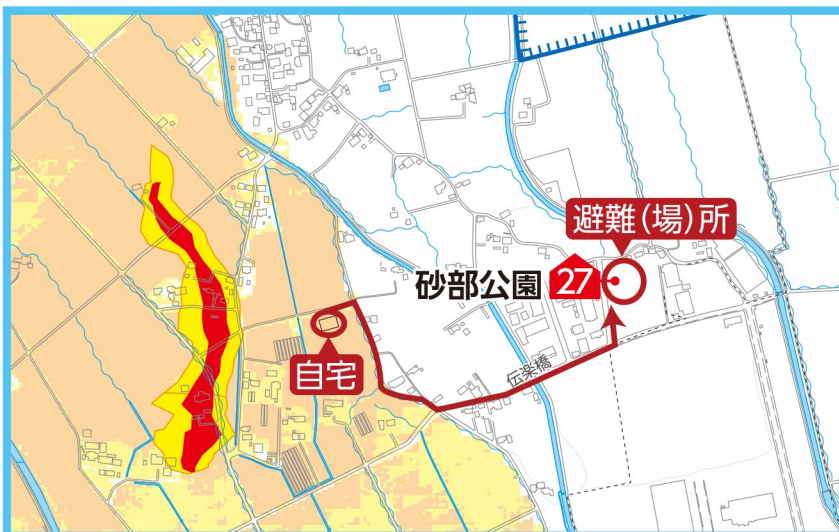


土砂災害

● 土砂災害特別警戒区域 ● 土砂災害警戒区域  
地図1~6で自分の住んでいる場所に色が塗られていた場合、5ページのハザードマップの見方でハザード情報の確認をしましょう(P5へ)  
● 土砂災害の危険は? (ある・なし)  
● 自宅付近の色は? (赤・黄色)

色が付いている内容を表に記入したけど、あと何を確認すればいいの?

次は、災害の時に避難する場所と行き方を確認しよう。



チェック③

地図上で赤緑マークがある箇所が避難所と避難場所です。避難所一覧(P6)でも確認しておきましょう。避難(場)所に印を付けたら、そこまでの道のりもチェックしましょう。

避難所: \_\_\_\_\_  
避難場所: \_\_\_\_\_  
一時避難場所※: \_\_\_\_\_

※近くの公園や公民館等、家族や地区で集まれる場所を決めておこう。

避難所までの道のりを地図に書き込んだけど、台風や大雨の時はどんな行動をすればいいの?

P3に5段階の警戒レベルという表があるからそれを確認してみよう。  
レベル1、2は気象庁が発令しレベル3から5は高根沢町が発令するよ。

チェック④

5段階の警戒レベルを見てみましょう。レベル3が発令されたら、避難に時間がかかる高齢者やその家族は危険な場所から避難しましょう。レベル4が発令されたら危険な場所から全員避難しましょう。  
なお、高根沢町の情報はホームページや防災無線、防災・防犯メール等でお知らせします。(P3参照)

避難するタイミングは分かったけど準備はどのようにしたらいいの?

台風などの災害は発生するまでに時間があるから自分の行動計画表(マイ・タイムライン)を作っておくといいよ。

チェック⑤

P4を開いてマイ・タイムラインを作成しましょう。  
右側の《例》〇〇家の備えを参考にわが家の備えに書き込んでいきましょう。

チェック⑥

地震の時に備えましょう。  
⇒P23~25へ

チェック⑦

感染症対策は?  
⇒P20へ

チェック⑧

持出品や備蓄品は?  
⇒P26へ

ハザードマップには防災に関するいろいろなことが載っているのね。

ハザードマップをいつでも取り出せるところにおいて災害に備えておこう。

もくじ

災害への備え	1	新型インフルエンザ等感染症対策	20
災害への備え・もくじ	2	風水害対策	21
5段階の警戒レベル	3	土砂災害対策	22
マイ・タイムライン	4	地震対策	23
ハザードマップの見方	5	地震災害マップ	24
避難所・要配慮者施設一覧・全体索引図	6	わが家の安全対策	25
詳細図1~6	7~18	非常時持出品・備蓄品	26
五行川(洪水浸水想定区域図)	19	わが家の「防災・緊急情報」メモ	裏表紙